

守山市では、市内の事業所の皆さまにごみの減量化のご参考としていただくため、ごみの減量化に積極的に取り組んでいる事業所の事例紹介を行い、事業所からのごみの排出量の減量化を図っています。第2回目となる今回は、ライズヴィル都賀山の取り組みをご案内します。

ライズヴィル都賀山

事業所概要

事業所名	一般財団法人 守山野洲市民交流プラザ ライズヴィル都賀山
所在地	守山市浮気町 300-24
従業員数	60人
主な事業内容	ホテル業

ごみ減量化に向けた取り組み

ライズヴィル都賀山では、手の届く、身近な課題から積極的に行動を起こすことを理念に掲げ、環境問題に取り組む市民団体等との連携により、資源循環システムを構築しております。

- 1 NPO 法人日本食品リサイクルネットワーク関西支部との連携により、館内から出る食品の生ごみを有機肥料化し、有価物として出荷。この有機肥料を用いて育てた食材をホテル利用者に提供し、食材が循環するシステムを構築しています。



生ごみ処理機



生ごみ処理機からのたい肥

- 2 NPO 法人碧いびわ湖との連携により、館内から出る廃食油を分別回収し、液体せっけんに加工。館内で液体せっけんを活用することにより、再資源化しています。



廃食油を分別回収



液体せっけん

- 3 知的障害者授産施設むつみ園にアルミ缶、古新聞、ダンボール回収を委託し、CSRを推進

取組みの効果

- 生ごみ処理機の導入で生ごみの排出が「ゼロ」
- 廃食油の分別、再資源化で廃食油の排出が「ゼロ」
- アルミ缶、古新聞、ダンボール回収で社会貢献

事業所からのメッセージ

ライズヴィル都賀山からのメッセージ

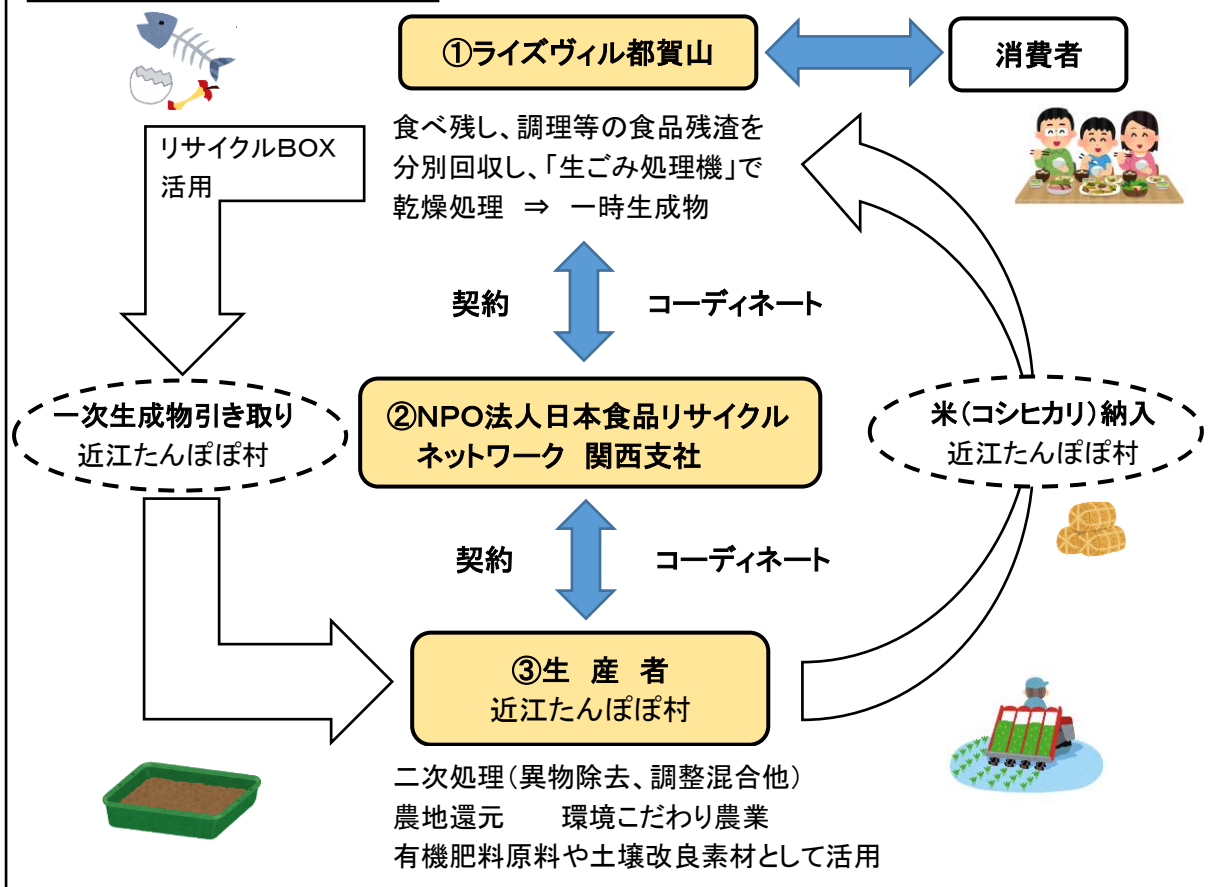
守山市で事業を営む者の責任として、事業系ごみの減量化に積極的に取り組む義務があると考えます。しかし義務感だけでは取組に対して「心と力」が入りません。そこで、ちょっとかっこいい言葉で取組む意義を明確にしました。

「琵琶湖の環境を守り、安心・安全な食生活を」

食を扱う事業者の一員として考えたのは、安全な食べ物を提供する土台は、土であり、水であるということです。この土と水の安全を意識すれば、結果的に琵琶湖を守るための取組みの一助になるではないでしょうか。

- ・土の取組み→食品系残渣をゴミでなく、安全な肥料として扱い、安全な土づくり
- ・水の取組み→廃食油を回収し液体せっけんに加工、再資源化、環境にやさしいせっけん

食品リサイクルネットワーク



皆さんへ、このような取り組みには、手間と費用が掛かります。しかし環境保全の一助となり、安心・安全な社会を未来に残すことが可能となります。皆さんと一緒に様々な「ごみの減量化」を進めましょう。